

令和6年度第1回宇和島圏域災害医療対策調査結果

所属名	宇和島市立津島病院
------------	-----------

設問 1	<p>「豊後水道地震発生時の対応時系列について」</p> <p>※主要な出来事や情報をクロノロジー（誰が発信し、誰が受信し、どのような内容であったかを時系列的に記録したもの）として整理してください。なお、整理が困難な場合は、備考欄に概要を記載してください。</p> <p>※行が足りない場合は、適宜追加してください。</p>
-------------	--

	日付	時刻	発信	受信	内容	
回答 1	4/17	23:14	—	—	○豊後水道を震源とする地震が発生し、県内最大震度6弱を観測	
		23:50	—	—	○職員第一陣参集 ○患者・職員安否及び院内被害状況を確認	
	4/18	1:15	津島病院事務局	愛媛県医療対策課	○EMISに被害状況を入力	
	4/18	9:00	津島病院事務局	宇和島市災害対策本部	○市総合防災情報管理システムに9時時点の被害状況を入力	
	4/18	13:00	津島病院事務局	愛媛県医療対策課	○EMISに13時時点の被害状況を入力	
	4/23	9:00	津島病院事務局	宇和島市災害対策本部	○市総合防災情報管理システムに9時時点の被害状況を入力	
	5/9	9:00	津島病院事務局	宇和島市災害対策本部	○市総合防災情報管理システムに9時時点の被害状況を入力	
					備考	

設問 2	「初動対応時の緊急連絡網やアクションカード（役割別対応手順書）等の活用状況について」
回答 2	<p>○緊急連絡網を用いて、幹部職員や事務局職員の安否状況及び参集を確認した。</p> <p>○アクションカード（役割別対応手順書）は、事業継続計画（BCP）で作成していたものの活用しなかった。</p>

設問 3	「判明した課題及びその対策方針等について」
回答 3	<p>○職員の参集基準等について徹底出来ていなかったため再確認を行い、幹部職員を含めた災害連絡用のLINEグループを作成し情報共有することとした。</p> <p>○EMIS入力に手間取ったこともあり、入力方法について事務局職員にて再確認を行った。</p>

令和6年度第1回宇和島圏域災害医療対策調査結果

所属名	独立行政法人地域医療機能推進機構宇和島病院
-----	-----------------------

設問1	「豊後水道地震発生時の対応時系列について」 ※主要な出来事や情報をクロノロジー（誰が発信し、誰が受信し、どのような内容であったかを時系列的に記録したもの）として整理してください。なお、整理が困難な場合は、備考欄に概要を記載してください。 ※行が足りない場合は、適宜追加してください。
-----	---

日付	時刻	発信	受信	内容
	4/17	23:14		4月17日23：14愛媛県と大分県の間にある豊後水道を震源とするマグニチュード6.6の地震が発生。最大震度6弱。宇和島市震度5強 災害対策本部自動設置 *院長不在の為、当直医師（副院長）を本部長としたが被害状況が軽微なため本部設置はしないこととした。 *4/18も引き続き院長不在の為、副院長（整形外科）が院長代行となる。院長代行と相談して緊急の運営会議を開催することとした。
		23:20		・プールボイラ、東4階ボイラー2機（東棟に供給）が地震センサーにより停止状態（0：20復旧）
	4/18	23:30		事務長病院到着 数名の職員がすでに被害状況を確認し順次、口頭報告 ・病院入院患者、老健入所者の被害なし 職員の被害状況も現状報告なし ・西地下（厨房に供給）ボイラーの給水配管のずれ部分から水漏れ→業者4月18日に点検（4/18 9：15復旧） ・管理棟階段の踊り場のガラス割れ（注意喚起のテープ対応） ・病院、老健EV停止 ・天井の若干のクラック（複数ヶ所）
		23:50		・老健地下機械室貯湯槽の配管漏れ（少量）→業者に連絡→業者に依頼→14～16：00作業→修繕不能→別担当者が修理予定
	4/18	0:00		・参集要員に院内外の確認を指示
		0:01		・病院長へ報告。緊急を要することがなければ続報は翌朝
	4/18	0:10		・地区事務所 赤塚経営支援専門職へ上記と参集要員数（約20名）を報告 ・NHKより被害状況確認の電話があり事務当直者が「被害なし」と回答（管理者が回答することを指導）
		0:15		・再度NHKから被害状況の確認電話。事務当直者が「先ほど回答した」と回答
	4/18	0:20		参集要員（20名）1階受付付近で被害状況の報告と翌日の診療に関する対策会議 ・OP室 ルーム1 ルーム2 ルーム3 扉のずれ（10：00 復旧） ・オートクレープの配管外れのため、予定OPについては翌朝、担当医と相談（使用可能） ・外来診療に関する問題は無し ・ボイラーの給水配管のずれにより、食事提供の可否を栄養管理室に確認 ・翌日の健診バスが愛南町（震度6弱）の為、翌朝、先方に確認 ・病院と老健の連絡通路上部壁面の剥がれ
		0:50		参集要員は順次解散
	4/18	0:52		宇和島保健所企画課より被害状況確認の電話があり、把握できている状況を報告
		1:20		・病院 救急室前EV復旧
	4/18	1:45		・病院、老健ともに水道、ガス使用可能の為、調理はできるが、配膳用EVの復旧待ち
		1:50		・病院の配膳用EV復旧
	4/18	2:20		・病院西側EV復旧
		2:35		・病院側リハビリ棟EV復旧 ・病院東棟EV 復旧できず→明朝以降に再点検（11：40 復旧）
	4/18	2:40		・病院エスカレーター業者は明朝に点検できるよう調整し安全確認後、再開（8：10 再開）
		3:20		・老健1号機EV復旧 3号機（配膳用）は復旧の目途立たず（13：00 復旧）
	4/18	4:00		・老健2号機EV復旧
		6:00		・3階 372号室の水道の色が黄色かったがしばらく流すと透明になった
	4/18	7:00		・宇和島保健所企画課よりライフラインの状況確認の電話あり、EMISへの登録依頼あり
		7:05		・東3の防火扉の異常が消えない（9：15 復旧）
	4/18	7:30		・生き活きうわじまLifeの災害時緊急データベースに被災情報を登録
		7:40		・病院、老健の調理、配膳問題なし 老健の配膳は復旧した1号機を使用
	4/18	8:20		・病院長へ2回目の報告
		8:30		・本日予定のOPは延期（脊椎OPの為、余震警戒）
	4/18	8:45		・臨時の運営会議を開催し、昨夜から現在までの状況を報告及び共有 ・被災職員なし
		9:00		・4/19（金）予定OP4件について各部門と調整中 入院中の人工関節2名は予定通りOP 本日入院の人工関節OPは5/21に延期 手根管開放術（外来OP） 但し、バイオクリーンルームの天井の剥がれが修復できることが条件
	4/18	9:00		・（報告）ME関係異常なし
		9:10		・水道水が黄色かったことに対して「水質検査した方がいいのではないかと意見あり 業者に確認 それまでは栄養管理室の備蓄飲料水を使用する ・業者より異色 異臭があれば10分程度水を出しっぱなしして無味無臭となれば問題なし ならなければ再度連絡
	4/18	9:20		・OT室の壁に2mのクラック
		11:05		・OP室バイオクリーンルームの天井の剥がれ修復済（予定のOP可能）
	4/18	11:30		・老健3Fレクルームベランダ側ガラス窓、サッシより外れている→業者に連絡→4/22 PM修繕予定→13：55 復旧
		16:10		・本部 整備支援課より連絡あり 井戸水の活用を指示
	4/18	17:30		・老健2階食堂天井ボード破損→対応検討中
		4/19	9:00	・病院長へ3回目の報告
	4/19	10:00		・老健屋上、漆喰破損（1か所）下も屋根になっているため、危険性なし→防水修繕を施設にて実施予定
		12:00		・老健3Fダイルーム天井 板はずれ→業者確認予定
				備考

設問2	「初動対応時の緊急連絡網やアクションカード（役割別対応手順書）等の活用状況について」
回答2	震度5強であったため緊急連絡網は活用せず本部委員は自主参集した。 職員の安否確認はグループLINEを活用した部署と緊急連絡網を活用した部署があった。 病棟勤務の看護師は発災後にアクションカードを使用して巡回、施設の破損状況を確認して当日の看護管理当直へ報告した。概ね緊急参集した職員はアクションカードをもとに行動できていた。

設問3	「判明した課題及びその対策方針等について」
回答3	・当院のマニュアルでは震度5弱では本部長（院長）の判断により緊急参集、5強では緊急参集となっているが、全職員が認識できていなかった。→運営会議で周知した ・20名程の職員が参集し臨時的な会議は開催したが、大きな被害等が見受けられなかったため本部設置までは不要と判断した。しかし、「マスコミ対応」「参集職員の確認」等もあり、本部設置は必要であったと考える。→災害対策委員会で振り返り ・災害対策委員会を中心にBCP策定（改定）WG、院内災害対策マニュアル改定WGの小グループを立ち上げて早急に見直すこととしている。

令和6年度第1回宇和島圏域災害医療対策調査結果

所属名	宇和島医師会
------------	--------

設問 1	「豊後水道地震発生時の対応時系列について」 ※主要な出来事や情報をクロノロジー（誰が発信し、誰が受信し、どのような内容であったかを時系列的に記録したもの）として整理してください。なお、整理が困難な場合は、備考欄に概要を記載してください。 ※行が足りない場合は、適宜追加してください。					
回答 1	日付	時刻	発信	受信	内容	
	4/17	23:14	—	—	○豊後水道を震源とする地震が発生し、県内最大震度6弱を観測	
		23:19	竹田会長	—	○LINEグループDr.への被害状況確認あり	
		23:20	大野副会長	—	○グループメンバー39名中17名ほどの先生から返信あり	
					○翌日になり、数件送付された写真で被害状況確認	
		備考	未だ災害時における医師会レベルの動き出しは遅い。			

設問 2	「初動対応時の緊急連絡網やアクションカード（役割別対応手順書）等の活用状況について」
回答 2	現時点では使用するような具体的な活動は行っていない。

設問 3	「判明した課題及びその対策方針等について」
回答 3	他人事のような意識の低さが否めない結果であった。

令和6年度第1回宇和島圏域災害医療対策調査結果

所属名	南宇和郡医師会
------------	---------

設問1	「豊後水道地震発生時の対応時系列について」					
	※主要な出来事や情報をクロノロジー（誰が発信し、誰が受信し、どのような内容であったかを時系列的に記録したもの）として整理してください。なお、整理が困難な場合は、備考欄に概要を記載してください。 ※行が足りない場合は、適宜追加してください。					
回答1	日付	時刻	発信	受信	内容	
	4/17	23:14	—	—	○豊後水道を震源とする地震が発生し、県内最大震度6弱を観測	
		備考	※会議当日報告予定			

設問2	「初動対応時の緊急連絡網やアクションカード（役割別対応手順書）等の活用状況について」				
回答2	※会議当日報告予定				

設問3	「判明した課題及びその対策方針等について」				
回答3	※会議当日報告予定				

令和6年度第1回宇和島圏域災害医療対策調査結果

所属名	宇和島歯科医師会
------------	----------

設問1	<p>「豊後水道地震発生時の対応時系列について」</p> <p>※主要な出来事や情報をクロノロジー（誰が発信し、誰が受信し、どのような内容であったかを時系列的に記録したもの）として整理してください。なお、整理が困難な場合は、備考欄に概要を記載してください。</p> <p>※行が足りない場合は、適宜追加してください。</p>
------------	--

	日付	時刻	発信	受信	内容
回答1	4/17	23:14	—	—	○豊後水道を震源とする地震が発生し、県内最大震度6弱を観測
	4/18	8:21	佐々木会長	宇歯LINE	被害確認、あったら返信
		8:43	A	宇歯LINE	ブロック塀一部倒壊
		8:53	B	宇歯LINE	モニター、PCが落下による破損
		10:07	愛媛県歯	ML、アプリ	安否、被害確認、要返信
		11:31	C	宇歯LINE	コンプレッサー不具合あり、11時過ぎに復旧
		12:19	佐々木会長	宇歯LINE	被害3件地方局に連絡した旨を報告
					備考

設問2	「初動対応時の緊急連絡網やアクションカード（役割別対応手順書）等の活用状況について」
------------	--

回答2	なし
------------	----

設問3	「判明した課題及びその対策方針等について」
------------	-----------------------

回答3	なし
------------	----

令和6年度第1回宇和島圏域災害医療対策調査結果

所属名	北宇和歯科医師会
------------	----------

設問1	<p>「豊後水道地震発生時の対応時系列について」</p> <p>※主要な出来事や情報をクロノロジー（誰が発信し、誰が受信し、どのような内容であったかを時系列的に記録したもの）として整理してください。なお、整理が困難な場合は、備考欄に概要を記載してください。</p> <p>※行が足りない場合は、適宜追加してください。</p>
------------	--

	日付	時刻	発信	受信	内容
回答1	4/17	23:14		—	○豊後水道を震源とする地震が発生し、県内最大震度6弱を観測
		23:31	宮谷歯科	14名（16名中）	安否確認
					23:33～翌日8:45までに9名より返信
					花瓶が割れた等、軽微な被害報告あり
	4/18	8:52	佐々木歯科	被害は？	改めての被害報告は無し

備考 北宇和歯科医師会LINEグループ 16名（未加入1名）

設問2	「初動対応時の緊急連絡網やアクションカード（役割別対応手順書）等の活用状況について」
------------	--

回答2	LINEグループ 16名中 14名に既読確認
------------	------------------------

設問3	「判明した課題及びその対策方針等について」
------------	-----------------------

回答3	非常時の連絡網の活用を徹底するよう喚起。LINEグループ 未加入の高齢会員へは、後日電話にて確認を行った。
------------	---

令和6年度第1回宇和島圏域災害医療対策調査結果

所属名	愛媛県看護協会
------------	---------

設問1	「豊後水道地震発生時の対応時系列について」				
	※主要な出来事や情報をクロノロジー（誰が発信し、誰が受信し、どのような内容であったかを時系列的に記録したもの）として整理してください。なお、整理が困難な場合は、備考欄に概要を記載してください。 ※行が足りない場合は、適宜追加してください。				
回答1	日付	時刻	発信	受信	内容
	4/17	23:14	—	—	○豊後水道を震源とする地震が発生し、県内最大震度6弱を観測
		23:30	愛媛看護協会	協会役員	○安否確認
	4/18	午前	愛媛看護協会	会員施設	○医療機関の被災状況の確認。 ○EMISで県内医療機関の被災状況の確認
			愛媛看護協会	市立宇和島病院	○看護部長に電話し、被害状況確認
			愛媛看護協会	市立八幡浜病院	○看護部長に電話し、被害状況確認
			愛媛看護協会	県立南宇和病院	○看護部長に電話し、被害状況確認
			愛媛看護協会	日本看護協会	○災害状況連絡票（第1報）送付 協会役職員・建物の被害なし、会員・地域からの支援要請なし、災害支援ナースの派遣要請なし
		備考			

設問2	「初動対応時の緊急連絡網やアクションカード（役割別対応手順書）等の活用状況について」			
回答2	県内病院への緊急連絡については、メーリングリストに登録がある、55施設の看護部長様に、安否確認、支援の必要性の有無などについてのメールを送付した。			

設問3	「判明した課題及びその対策方針等について」			
回答3	今回の地震では、人的・ハード面でも大きな被害がなく、災害支援ナースの派遣要請もなかったが、今後、同様の災害発生時に派遣要請があった場合に、迅速に対応できるよう、災害支援ナース養成研修を実施するとともに県と派遣体制整備に向けて協議を進めていきたい。			

令和6年度第1回宇和島圏域災害医療対策調査結果

所属名	宇和島地区広域事務組合消防本部			
設問1	「豊後水道地震発生時の対応時系列について」 ※主要な出来事や情報をクロノロジー（誰が発信し、誰が受信し、どのような内容であったかを時系列的に記録したもの）として整理してください。なお、整理が困難な場合は、備考欄に概要を記載してください。 ※行が足りない場合は、適宜追加してください。			
回答1	日付	時刻	発信	受信 内容
	4/17	23:14	—	— ○豊後水道を震源とする地震が発生し、県内最大震度6弱を観測 ○警備本部設置。第3配備として全職員参集 ○庁舎、通信設備等の被害状況確認
		23:30	—	— ○参集職員へ順次参集途上の被害状況を聴取 ○職員の参集状況及び安否確認実施
		23:40	消防署長	警備本部員 ○庁舎車庫に亀裂を確認 必要車両を屋外へ移動
		//	—	— ○宇和島消防署、市内巡視
		//	市総合防災情報管理システム	警備本部員 ○津島町寿町 水道管破裂
		23:41	—	— ○地震初動対応から通常対応へ切り替え
		23:50	市総合防災情報管理システム	警備本部員 ○津島町北灘(北灘小学校付近)断水
		23:53	—	— ○鬼北消防署 町内巡視
		//	住民	警備本部員 ○津島町田風 水道管破裂
		23:55	—	— ○庁舎エレベーター確認のため愛媛エレベーター来庁
		23:56	住民	警備本部員 ○宇和島市和霊町 漏水情報
		23:58	市総合防災情報管理システム	警備本部員 ○予讃線踏切にて遮断機誤作動(通行不可)
		23:59	住民	通信指令員 ○94歳男性避難のため屋外へ出た際、落下物により左手を負傷
	4/18	0:07	—	警備本部員 ○市立宇和島病院通常対応可能
		0:20	水道局	警備本部員 ○柿原浄水場停電により送水できるか不明 ○各署へ伝達し、火災対応協議
		0:28	—	— ○出動指令権を通信へ返還
		0:35	—	警備本部員 ○吉田町深浦 水道管破裂
		0:38	宇和島市危機管理課	警備本部員 ○丸山公園に車両56台自主避難中
		0:47	消防団	警備本部員 ○宇和島市上光満で落石 道路通行不可
		0:47	—	警備本部員 ○原子力発電所異常なし。
		0:50	住民	警備本部員 ○吉田町河内 灯油缶が転倒による漏油 警戒出動
		//	—	— ○鬼北消防署 町内巡視(愛自治区)
		0:55	住民	警備本部員 ○吉田町高城公民館付近道路で土砂崩れが発生との情報 少量の落石のみ
		0:58	住民	警備本部員 ○宇和島市弁天町 倉庫にて火災 地震との関連無し
		1:18	—	— ○津島分署 津島町内巡視
		1:27	—	警備本部員 ○JR予讃線最終便 高光付近にて停車中 乗員乗客車内待機
		1:41	吉田分署員	警備本部員 ○吉田町喜佐方 施設にて自火報の鳴動を確認 調査実施
		1:47	住民	鬼北消防署員 ○救急要請 地震との関連無し
		1:55	—	— ○津島分署 津島町内(寿町) 巡視(バイク)
		2:20	大洲消防	警備本部員 ○県内応援隊等の出動不要
		2:36	宇和島消防署員	警備本部員 ○宇和島市新町 自火報鳴動 火災危険なし
		2:39	—	— ○津島分署 管内(宇和島市祝森) 巡視
		3:00	—	— ○第3配備 → 第1配備へ移行
		8:50	住民	通信指令員 ○71歳女性 地震時に転倒 右足を負傷し動けない
		11:30	住民	警備本部員 ○宇和島市保田 ブロック塀倒壊 人的被害無し
	4/21	10:10	住民	通信指令員 ○宇和島市中央町 危険物排除(軽量鉄骨の落下危険)
	4/22	18:00	—	— ○警備本部解散
			備考	○愛媛県災害情報システムにより各種情報を取得及び共有(警備本部情報班) ○宇和島市災害総合情報管理システムにより各種情報の取得及び共有(警備本部情報班) ○警備本部統括班により各関係機関と連携
設問2	「初動対応時の緊急連絡網やアクションカード(役割別対応手順書)等の活用状況について」			
回答2	○消防本部・消防署災害対策要綱に基づく対応 第3配備体制(全職員、各参集場所へ自己参集等) ○震災初動基本計画に基づく初動対応 火災対応優先、パトロール隊の編成、情報収集体制等 ○警備本部運営要領に基づく警備本部の設置 ○防災拠点移動計画に基づくアクションカードあり 本災害での活用なし			
設問3	「判明した課題及びその対策方針等について」			
回答3	○報道機関対応について 報道機関からの問い合わせにより電話回線を同時に数回線使用する状況が発生。報道機関への情報提供の必要性も考慮しつつ対応を検討中。			

令和6年度第1回宇和島圏域災害医療対策調査結果

所属名	宇和島市
-----	------

設問1	「豊後水道地震発生時の対応時系列について」				
	※主要な出来事や情報をクロノロジー（誰が発信し、誰が受信し、どのような内容であったかを時系列的に記録したもの）として整理してください。なお、整理が困難な場合は、備考欄に概要を記載してください。 ※行が足りない場合は、適宜追加してください。				
回答1	日付	時刻	発信	受信	内容
	4/17	23:14	—	—	○豊後水道を震源とする地震が発生し、県内最大震度6弱を観測 ○宇和島市災害対策本部設置
		23:40	—	—	○職員第一陣参集 ○職員安否状況及び執務所内の被害状況を確認
		23:47	宇和島市保健班	災害コーディネータ JCHO病院 徳州会病院 宇和島医師会 宇和島薬剤師会	○「宇和島市保健班・医師会共有LINEグループ（災害拠点病院コーディネータ・医師会・保健班）」により、双方の安否・被害状況を報告、情報共有
	4/18	0:30	—	—	○第1回愛媛県災害対策本部会議 第1回宇和島市災害対策本部会議 保健福祉部長出席
		0:30	宇和島市保健班	各医療機関	○EMISにより、各医療機関の状況を把握
		1:00	宇和島市保健班	災害対策本部	○「宇和島市総合防災情報管理システム」を使用し被害状況を報告
		1:00	宇和島市保健班	避難所	○「宇和島市総合防災情報管理システム」を使用し、公民館等避難所への避難状況等を情報収集。
		2:30	宇和島市保健班	災害対策本部	○「宇和島市災害対応システム」を使用し、保健班の初動参集人員を報告（保険健康課）10名
		2:35	—	—	○第2回宇和島市災害対策本部会議開催 保健福祉部長出席
		3:00	—	—	○翌日以降の保健活動について行動確認を行った。 ○保健福祉部長・保健班長（保険健康課長）以外帰宅。
		8:30	宇和島市保健班	各医療機関	○EMISにより、各医療機関の状況を把握
		9:00	宇和島市保健班	災害対策本部	○参集途上情報及び公共施設被害状況を報告
		9:20	宇和島市保健班	各避難場所	○公民館への避難者に対し健康観察を実施
		10:00	—	—	○第2回愛媛県災害対策本部会議開催 第3回宇和島市災害対策本部会議開催 保健福祉部長出席 ○災害対策本部における連絡員配置体制を確保
	4/19	9:20	宇和島市保健班	各避難場所	○公民館への避難者に対し健康観察を実施
		9:00	宇和島市保健班	災害対策本部	○地震による被害・対応状況報告書 ※平日毎日9時更新（～4/24）
		10:00	—	—	○第4回宇和島市災害対策本部会議開催 保健福祉部長出席
	4/22	15:00	—	—	○第5回宇和島市災害対策本部会議開催 保健福祉部長出席
	4/23	8:45	宇和島市保健班	災害対策本部	○9時時点の被害状況報告
	4/24	8:45	宇和島市保健班	災害対策本部	○9時時点の被害状況報告
	4/25	8:45	宇和島市保健班	災害対策本部	○9時時点の被害状況報告
		17:00	災害対策本部	宇和島市保健班	○災害対策本部廃止
	5/2	8:45	宇和島市保健班	災害対策本部	○9時時点の被害状況報告
	5/9	8:45	宇和島市保健班	災害対策本部	○9時時点の被害状況報告
	5/22	9:00	—	—	○宇和島市災害対策本部会議開催（豊後水道地震の対応振り返り） 保健福祉部長出席
	備考	○EMIS（広域災害救急医療情報システム）による医療機関の被害状況を確認 ○宇和島医師会等に被害状況を聞き取り ○宇和島市災害対策本部－保健福祉部「避難・救護対策」－福祉班・保健班 ※保健班分掌事務－保健活動・救護所・医療救護班・医療資材等調達・傷病者医療機関受入れ等			

設問2	「初動対応時の緊急連絡網やアクションカード（役割別対応手順書）等の活用状況について」
回答2	○緊急連絡網については、LINEを用いて課内職員の安否状況確認を行った。 ○アクションカードについては未作成。

設問3	「判明した課題及びその対策方針等について」
回答3	○年度当初であり、防災システム内の職員所属が人事異動を反映できていなかったり、新所属での自身の役割を正しく理解できていなかった。異動職員が、新体制での災害時の対応の早期理解が必要である。 ○既存マニュアルは、夜間に発災した場合に対応していなかった。今後作成を検討する。

令和6年度第1回宇和島圏域災害医療対策調査結果

所属名	鬼北町
------------	-----

設問1	「豊後水道地震発生時の対応時系列について」 ※主要な出来事や情報をクロノロジー（誰が発信し、誰が受信し、どのような内容であったかを時系列的に記録したもの）として整理してください。なお、整理が困難な場合は、備考欄に概要を記載してください。 ※行が足りない場合は、適宜追加してください。					
回答1	日付	時刻	発信	受信	内容	
	4/17	23:14	災害対策本部	職員	○豊後水道を震源とする地震が発生し、県内最大震度6弱を観測 ○鬼北町災害対策本部を設置	
		23:14			○第二配備体制職員招集	
	4/18	0:00			○第1回災害対策本部会議開催 （被災状況把握指示）	
		0:25	好藤公民館	災害対策本部	○避難者1名（好藤公民館）	
		0:27	好藤公民館	災害対策本部	○避難者1名（好藤公民館）	
		2:00			○第2回災害対策本部会議開催 （被災状況報告）避難者2名、漏水1箇所 ○第一配備体制に変更	
		4:15			○漏水箇所修繕完了	
		5:32			○避難者2名帰宅	
		8:00			○第3回災害対策本部会議開催 （被災状況報告）	
		16:00			○第4回災害対策本部会議開催 （被災状況報告）	
		16:13			○鬼北町災害対策本部解散	
		備考				

設問2	「初動対応時の緊急連絡網やアクションカード（役割別対応手順書）等の活用状況について」				
回答2	職員参集（RAIDEN）メールにて職員参集通知（第2配備体制）係長級以上職員参集（各公民館主事含む）				

設問3	「判明した課題及びその対策方針等について」				
回答3	第2配備体制の未出勤者・参集メールへの無回答者				

令和6年度第1回宇和島圏域災害医療対策調査結果

所属名	宇和島保健所
-----	--------

設問1 「豊後水道地震発生時の対応時系列について」
 ※主要な出来事や情報をクロノロジー（誰が発信し、誰が受信し、どのような内容であったかを時系列的に記録したもの）として整理してください。なお、整理が困難な場合は、備考欄に概要を記載してください。
 ※行が足りない場合は、適宜追加してください。

日付	時刻	発信	受信	内容
4/17	23:14	—	—	○豊後水道を震源とする地震が発生し、県内最大震度6弱を観測 ○県災害対策本部設置
	23:30	—	—	○職員第一陣参集 ○職員安否状況及び執務室被害状況を確認
4/18	0:10	宇和島保健所	防災対策室	○取り急ぎの参集人員を報告（第1報）
	0:30	—	—	○第1回県災害対策本部会議開催 ○保健福祉対策班長及び副班長出席
	1:00	宇和島保健所	JCHO宇和島病院	○被害状況を聞き取り
	1:10	宇和島保健所	県庁医療対策課	○JCHO宇和島病院の被害状況を報告
	1:30	宇和島保健所	防災対策室	○本局の初動参集人員を報告（第2報）（企画課：9名、地域福祉課：18名、健康増進課：11名、生活衛生課：1名、環境保全課：5名）
	2:30	宇和島保健所	—	○保健所の被害情報等を保健所現状報告システムに入力
	2:50	宇和島保健所	防災対策室	○2時時点の被害状況を報告
	3:30	宇和島保健所	防災対策室	○4時時点の被害状況を報告
	5:30	宇和島保健所	防災対策室	○6時時点の被害状況を報告
	7:15	宇和島保健所	各医療機関 県庁医療対策課	○県庁医療対策課が7時締切でEMIS入力を依頼していたものの、未入力であった以下の機関に被害状況を聞き取り、代理入力又は同課に報告 ・JCHO宇和島病院 ・正光会宇和島病院 ・鎌野病院 ・鬼北町立北宇和病院 ・西本病院 ・加藤整形外科
	9:00	企画課	健康増進課 生活衛生課 環境保全課	○暫定案として「気象警報又は地震発生時における宇和島保健所職員の対応手順」及び「県災害対策本部要綱に基づく職員参集・配備計画及び連絡体制」の運用を開始 ○夜間及び休日の当番体制を確立
	9:50	宇和島保健所	防災対策室	○10時時点の被害状況を報告
	10:00	宇和島保健所	静愁苑	○被害状況を聞き取り
	10:30	—	—	○第2回県災害対策本部会議開催 ○保健福祉対策班長及び副班長出席
	11:00	宇和島保健所	宇和島医師会	○秋山医院の被害状況を聞き取り
	11:55	宇和島保健所	防災対策室	○12時時点の被害状況を報告
	13:45	宇和島保健所	防災対策室	○14時時点の被害状況を報告
	15:45	宇和島保健所	防災対策室	○16時時点の被害状況を報告
	20:00	宇和島保健所	防災対策室	○20時時点の被害状況を報告
4/19	8:30	南予地方局	宇和島市	○災害時情報収集職員（リエゾン）である宇和島保健所健康増進課職員1名（管理職）及び生活衛生課職員1名（係員）を宇和島市に派遣（～17:15）
	9:00	宇和島保健所	木村内科医院	○被害状況を聞き取り
	9:30	宇和島保健所	防災対策室	○9時30分時点の被害状況を報告
	9:50	宇和島保健所	県庁医療対策課	○木村内科医院の被害状況を報告
	14:45	宇和島保健所	防災対策室	○15時時点の被害状況を報告
4/20	9:00	宇和島保健所	防災対策室	○9時30分時点の被害状況を報告
	14:30	宇和島保健所	防災対策室	○15時時点の被害状況を報告
4/21	9:20	宇和島保健所	防災対策室	○9時30分時点の被害状況を報告
	14:45	宇和島保健所	防災対策室	○15時時点の被害状況を報告
4/22	9:10	宇和島保健所	防災対策室	○9時30分時点の被害状況を報告
	14:30	宇和島保健所	防災対策室	○15時時点の被害状況を報告
	18:00	—	—	○県災害対策本部から県災害警戒本部へ移行
4/23	14:45	宇和島保健所	防災対策室	○15時時点の被害状況を報告
4/24	14:45	宇和島保健所	防災対策室	○15時時点の被害状況を報告
4/25	14:45	宇和島保健所	防災対策室	○15時時点の被害状況を報告
	17:00	—	—	○県災害警戒本部解散
	17:30	防災対策室	宇和島保健所	○本部解散の連絡
備考	○EMIS（広域災害救急医療情報システム）による医療機関の被害状況を確認 ○医療対策係を中心に医療機関や医師会、歯科医師会等に被害状況を聞き取り ○県庁医療対策課：県災害対策本部 災害医療対策部 災害医療対策班 ○南予地方局防災対策室：南予地方本部 地方司令部 情報収集・報告班 ○南予地方局健康福祉環境部：南予地方本部 保健福祉対策班			

設問2 「初動対応時の緊急連絡網やアクションカード（役割別対応手順書）等の活用状況について」
回答2 ○緊急連絡網については、LoGoチャット（自治体版LINEのようなアプリケーション）を用いて、所内管理職との連絡や課内職員の安否状況確認を行った。
 ○アクションカードについては、作成していたものの活用しなかった。また、地震発生時点では、所内職員に周知できていなかった。

設問3 「判明した課題及びその対策方針等について」
回答3 ○職員の安否確認について、宇和島保健所企画課は南予地方局健康福祉環境部の幹事課として、部内各課（宇和島保健所及び地域福祉課並びに八幡浜保健所及び福祉室）の状況を把握する必要があったが、各職員が県防災メールにより回答していたものの、システムの設計上、自身の所属職員分しか確認することができず苦慮した。
 ○執務室の状況確認について、医薬品や精密機械が保管されている検査室に被害があった場合かつ臨床検査技師等の専門職が参集でなかった場合の対処が課題。
 ○EMISによる医療機関の被害状況確認や保健所現状報告システムの入力について、現在は対応可能な職員が少人数のため、誰が参集しても構わないよう作業方法を伝達する必要。